



立石正美副会長

板谷弘實副会長

山東隆明会長

県境トンネル早期実現を求める要望書を洩上市長(右)に手渡す粟野地区区長会の代表者

粟野地区と滋賀県マキノ町を結ぶ「県境トンネル」 早期実現と期成同盟会設立を要望

粟野地区区長会が市長と市議会議長に要望書提出

粟野地区区長会は2月19日、黒河地区と滋賀県高島市マキノ町を結ぶ「県境トンネル」の早期実現と、具体的推進活動を担う期成同盟会の設立を求める要望書を洩上市長と田中市議会議長に提出しました。

【要望の要旨】

- 敦賀市の最大の弱点である「山々が広域的経済圏の構築を阻害している現状」を打破するため、粟野地区と高島市マキノ町とを結ぶ県境連絡道路を早期に実現して頂きたい。新設する県境連絡道路は、積雪時でも安全性や信頼性が確保できるように是非ともトンネル方式として整備計画を進めて頂きたい。
- 本計画を実現するためには、関係自治体や地元の各種団体等が一致団結し、国・県に対して強く働きかけていくことが重要であることから、敦賀市がリーダーとなって「敦賀～高島トンネル」整備促進期成同盟会を早急に立ち上げて頂きたい。

【要望の主な理由】

- 隣接している高島市と産業・経済・観光など広域的な連携を構築し、敦賀市と高島市が地域間協調と共栄を実現するためには、雪害を受けないで両市を効率的に結ぶトンネル整備が必要不可欠である。
- 南海トラフ地震の発生時には、比較的被害が少ないと想定されている福井県と滋賀県北部が災害支援拠点として貢献できるほか、太平洋側の輸出拠点港である大阪港と神戸港の代替港に指定されている敦賀港への重要な動脈としての役割を果たすことができる。